

Y-1 : 非営利団体セッション

開催日時・会場 9月19日(水曜日) 10:30-12:00 402 (4階)

民間助成金の獲得に向けて一助成金応募に際しての留意点等一

民間助成財団による助成金は、現在、全体としておよそ1000億円強と見込まれている(助成財団センター 2017年調査による)。これらの助成金は、科学研究費補助金(科研費)をはじめとする国の競争的資金とは異なり、「民間」ゆえの独自で多様な性格を有している。一方、近年、全国の大学や研究機関においては、「外部資金」への依存度を高めつつある。民間助成財団の助成金もそのような資金の一つであろうが、国の競争的資金とは異なり、「民間」ゆえの独自で多様な性格を有している。

そこで、当セッションでは、大学や研究機関等において研究推進/支援等の業務に携わっているRA関係者を対象に、民間助成金の獲得に向けた必要な知識と情報を提供することを目的に、主として(1)日本の民間助成財団の現状、(2)民間助成財団における助成事業の概要、(3)助成金の応募に当たって、(4)助成の選考について、(5)研究支援・推進担当者として留意すべきこと、等からなるレクチャーを<RA協議会>との共催で行う。

オーガナイザー／講演者

渡辺 元:(公財)助成財団センター 事務局長／プログラム・ディレクター

トヨタ財団のプログラム・オフィサーとして、研究および市民活動等に関する助成事業の開発・運営に長年携わり、その後はプログラム部長・事務局次長。この間、都留文科大学非常勤講師、立教大学大学院特任教授を務めたほか、NPO法人市民社会創造ファンドの立ち上げにも携わり、現在、副運営委員長。2013年1月より(公財)助成財団センター プログラム・ディレクター、16年4月より事務局長を兼任。14年4月より立教大学大学院客員教授。

オーガナイザー／司会者

松本 理沙:金沢大学 先端科学・イノベーション推進機構(RA協議会・事務局)
研究員(URA)



同志社大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程満期退学。修士(社会福祉学)。
日本学術振興会特別研究員(DC2)、同志社大学社会学部社会福祉学科実習助手等を経て、2018年4月より現職。
プレ・アワード業務、先端研究基盤共用促進事業支援業務、RA協議会事務局業務等を担当している。